

第2回

厚田ふるさと平和・文学賞 作品募集

子母澤寛氏(1892～1968)は、庶民の生活に根ざした温かな視点で情愛、哀感などを描き、人間の本質に迫ろうとしました。その底流には、人間の尊厳性を脅かすものに対峙し闘う、ヒューマンイズムの精神があふれていました。

こうした子母澤氏の文学への貢献を顕彰するとともに、新たな文学の創出を目指します。具体的には、短編小説部門として「子母澤寛文学賞」を、エッセイ部門(子母澤寛作品の感想を含む)として「愛猿記賞」を設立し、それぞれ広く募集します。



<http://atsuta.net>



短編小説部門「^{し も ざ わ かん}子母澤 寛文学賞」

大賞＝15万円(1名) 佳作＝5万円(若干名)

※各当選者に副賞として石狩市・厚田区の特産品を進呈します。

エッセイ部門「^{あい えん き}愛猿記賞」

(子母澤寛作品の感想を含む)

大賞＝3万円(1名) 佳作＝1万円(若干名)

※各当選者に副賞として石狩市・厚田区の特産品を進呈します。

選考委員会

「厚田ふるさと平和・文学賞」選考委員会

選考委員長 佐藤 勝彦(札幌大学名誉教授、子母澤寛研究者)

選考委員 吉田 悦志(明治大学図書館長・教授、学術博士、子母澤寛研究者)

丹羽 秀人(函館市中央図書館館長、前石狩市民図書館副館長、司書、子母澤寛研究者)

森 厚(農民文学賞作家)

清水 千晴(石狩市民図書館副館長)

応募規定

◆「子母澤寛文学賞」400字詰め原稿用紙(A4版)30枚

◆「愛猿記賞」400字詰め原稿用紙(A4版)3枚

ワープロ原稿はA4版無地用紙に20字×20行で縦書きに印字(感熱紙は文字が消えるおそれがあるため不可)。表紙に、題名、〒住所、氏名(ふりがな、ペンネームの場合は本名も)、生年月日、性別、職業(学校名)、電話番号を明記。自作未発表作品にかぎります。

※応募作品は紙ベースで送付のこと(インターネットやメール等での受付は行いません)。また、応募作品の返却はいたしません。

※「短編小説部門」は一人3点まで応募可能です。「エッセイ部門」は一人何点でも応募可能です。

※応募作品はA4サイズのまま、折り曲げずに送付してください。なお、応募作品の複写1セットを、ホチキス止め等をせずに同封してください。

応募資格

不問

募集期間

2018年7月1日～2019年3月31日(必着) ※以後、隔年で実施します。

発表

2019年10月(予定) 受賞者に通知いたします。

原稿送付先

〒061-3523 北海道石狩市厚田区望来94-22【望来郵便局留め】
厚田区望来388-159
「厚田ふるさと平和・文学賞」実行委員会 佐藤勝彦 行

当選作品の公開

当選作品は本実行委員会のホームページ上に公開する予定です。

作品の著作権

当選作品の著作権は本実行委員会に帰属します。

後援

石狩市 石狩市教育委員会 北海道立文学館 明治大学史資料センター 北海高等学校
石狩ユネスコ協会 NPO 法人ひとまちつなぎ石狩 北海道新聞社
えりすいしかりネットテレビ あい風風車基金 (順不同)